



## 環境共生モデル（一面よりづく）



年6月に宮脇式でレダに植えた木々の5か月後。

現地での作業が停滞しましたが、その間、私たちは日本での宮脇式植樹活動に従事し、研鑽を積みました。同時にレダ現地でも、チャコ地方の潜在自然植生である、ケララッヂョ、アルガロボ、パロサントなどの種子を採取・育苗し、本格的な森づくりの準備を進めました。そして2025年6月と10月、ついに現地に植樹チームを派遣。パンタナールおよびチャコ地

域においては史上初となる宮脇式植樹を、レダの地で実施することができました。

6月に植えた木々は乾季を乗り越え、順調に育っています。2026年は、この「M&LEDA方式（宮脇式植樹のLEDAモデル）」の定着と成熟に向けてさらに活動目指しています。一般的には「アグロフォアストリー」と呼ばれる戦略です。これが文先生の提唱された「地球村」「コミュニティ」の具現化であり、完成段階のフェーズです。

### ●生態系再生によるメリット

かつて世界の農業は、効率を追い求める大規模単一栽培（モノカルチャー）を推進しましたが、その代償として土地は疲弊し、多样性が失われ、農薬や肥料に依存する悪循環を招きました。これを克服するため、生態系再生

組み込みます。

## 大規模大豆農場

の基盤の上に経済活動を

### レダの養蜂作業

森が豊かになれば、養蜂を當むことができます。日本とのフェアトレードを通じて地域に安定した現金収入をもたらします。

さらに森が生き返れば、林床が健全化して、頑わしい養分が河川に流入し、水産資源にも好循環が生まれます。また、減少した

魚種の稚魚放流活動を森の再生活動と併せて実行することで、河川や海洋の生態系再生に寄与していくことができます。

なく、「自分の手にあるものをなぜ手放すのか?」と問われることもあります。しかし、植樹、放流の

ような「ために生きる」との実践を続けることで、現地住民の精神面に公共性の意識が芽生えるきっかけにもなっています。

こうして安定した収益を確保することこそが「森を創れば経済的に安定する」という結果を生み出し、現実に基づいた自発的な森の育成へと繋がることが期待できます。

南米には「自ら森をつくる」「稚魚を放流する」といった慣習や文化があり、それが持続可能な未来を実現するためには、植樹活動を單なるNGOの枠に留めず、地域経済の課題解決と直結させ

れます。「森を守るモチベーション」と「生活の安定」を両立させるため、私たちは「植樹」「農業」「漁業」を融合させ、生態系と人間が共生する理想的なモデルの開拓を目指しています。

一般的には「アグロフォアストリー」と呼ばれる戦略です。これが文先生の提唱された「地球村」「コミュニティ」の具現化であり、完成段階のフェーズです。

### レダで実行した、2025年パクー放流式。



稚魚を放流する少年

三つの難題を同時に解決する持続可能なモデル

かつて世界の農業は、効率を追いかける大規模単一栽培（モノカルチャー）を推進しましたが、その代償として土地は疲弊し、多様性が失われ、農薬や肥料に依存する悪循環を招きました。これを克服するため、生態系再生

が成功すれば、パラグアイ政府にとっても大きな課題である環境政策と、不毛の地とされてきたチャコ地方の再生を同時に成し遂げるものとなる具体的な指針を示すものとなるでしょう。

### ●未来の幸せを今から創る

地球の「肺」を再生し、地域の

「心臓」を動かす。未来の子供たちに豊かな森と生活を保証する。この歩みは、韓総裁が鮮鶴平和賞を通して掲げられる、「真の平和は、現状の問題解決とともに、未来の幸せを創ることである」という理念にも通じると確信しています。

環境問題と食料問題、貧困問題という三つの難題を同時に解決する持続可能なモデル

葉のように、私たちちは現状を嘆くだけでなく、皆様とともに希望の森を育てていきたいと思います。

# 「地球の反対側」で感じた生命力 レダ訪問で得た信仰と活力！

## 【重白彩恵さん】短期レダプログラム参加者の感想】

まず、今回のレダプログラム（昨年10月実施）で最も印象的だったのは自然環境です。

レダの自然是、本当に美しかったです。牧場には馬や牛、そして野生のワニやたくさんの鳥たちがいて、文字通り自然の生命力を肌で感じることができました。本当に心が解放されるような気持ちになりましたね。

レダへ向かう際も、私たちは船を利用したのですが、美しい朝日や夕日を見ながら、約6時間かけて進んでいきました。6時間が一瞬で過ぎてしまふほど、本当にありました。



農業体験プログラムでジャガイモの植え付け。

そして、御父母様の御言を実現するために、パラグアイの地で20何年間も歩み続けている先輩開拓者の方々の姿、また、御父母様の証人として私たちにその歴史を語り継いでくださる姿に、心から尊敬の念を抱きました。私は自身も、今後は南米開拓についてもっと深く学び、貢献できる人間になりたいという思いが湧くようになりました。

現地の方々や食口の方々とも交流させていただきました。特に印象的だったのは、先住民コミュニティに住むインディヘナの方々が約3年間かけて地元の方々と共に作り上げた建物です。偶然にも、その建物の開所式に行きました。

レダで宮脇方式による植樹されたレダプログラムになつたと感じています。レダだけでなく、イグアスの滝や世界最大級規模のイタ

大規模発電所のあるイタイプダムを見学。

途中で、暑さや厳しい環境もあるのですが、そこでもレダ

もまだ開発途上です。

またゼヒ行きたいと、強く思っています。

そこには、今もなお開拓伝道さ

当に自然に愛された時間でした。

当初は自然を見ることが目的だったので、南米開拓についてはほとんど知りませんでした。しかし、ツアーの中で南米開拓について深く学ぶにつれて、天の開拓の中でもっと重要なのではない

かと感じるほどになりました。真の父母様が、南米開拓をいかに重要視し、多大な投入をされてきたかを知りました。

そして、御父母様の御言を実現するために、パラグアイの地で20何年間も歩み続けている先輩開拓者の方々の姿、また、御父母様の証人として私たちにその歴史を語り継いでくださる姿に、心から尊敬の念を抱きました。私は自身も、今後は南米開拓についてもっと深く学び、貢献できる人間になりたいという思いが湧くようになりました。

レダで宮脇方式による植樹されたレダプログラムになつたと感じています。レダだけではなく、イグアスの滝や世界最大級規模のイタ

大規模発電所のあるイタイプダムを見学。

途中で、暑さや厳しい環境もあるのですが、そこでもレダ

もまだ開発途上です。

またゼひ行きたいと、強く思っています。

そこには、今もなお開拓伝道さ

れている先輩の方々や、この開

き、

も兄弟姉妹の絆を築くことがで

き、本当に語り尽くせないほど豊かな経験をさせていただき、すべてが楽しい日々でした。

実は、ツアーに行く前は、漠然とした不安な気持ちや、「活力がない」という悩みを抱えていたのです。しかし、レダから帰ってきて、自分でも驚いたのですが、不思議と不安がなくなり、活力が湧いてくる気持ちになりました。

日本とは地球の反対側に位置する、真の父母様が愛された土地での環境と出会いが、私を生まれ変わさせてくれた点があるのかもしれません。

御父母様の足跡をたどりながら、初めての経験をたくさんすることができて、すべてが夢のような時間でした。パラグアイもレダ

のかも知れないと思いました。御父母様の足跡をたどりながら、初めての経験をたくさんすることができて、すべてが夢のような時間でした。パラグアイもレダ



大規模発電所のあるイタイプダムを見学。

途中で、暑さや厳しい環境もあるのですが、そこでもレダ

もまだ開発途上です。

またゼひ行きたいと、強く思っています。

あけましておめでとうございます

# レダの電気屋さん



今年は、レダで四回目の正月を迎えることとなりました。例によつて昨年の記事を読み返してみたところ、「5年後のレダを描く」となつていました。正直に言つて達成できませんでした。

書いた時点でも、ちよつと話が大きすぎかな?とも思っていたのですが、まあそう思つてしまつた時点で実現しないものかもしれませんね。

確実に進んでおり、世代交代と共にレダ全体の「見える化」が進んできています。この先に、計画化があり、予算化があり、資金調達がありといったことを考えると、「見える化」が先だつたかもしれませんね。

## 今年の目標…レダ・プロジェクトの見える化

は、「レダプロジェクトの見<sup>え</sup>る化<sup>か</sup>」と「レダ」で行きたい  
と思います。

まあ、電気屋さんが何がで  
きるかと「レダ」ですが、今  
レダは、スターリングが設置

日陽電気  
されていります。で  
すので、インターネ  
ット環境を通  
じて世界中とリ  
アルタイムでつな  
がっています。

その環境を最大限利用して、さらにレダを身近に感じて頂けるようなことができればと思っています。では、本年もよろしくお願ひいた

(山崎茂章)

## 次期編集長のひとり言

寄付も会員だけからではなく、広く一般の日本と世界の人からも集める必要が出てきています。それは高齢化や人口減少などいくつかの原因によります。現在のレダ維持にはざつくり月5百万円、年間6千万円ほどが必要。▼レダの事業ですが、牛の実績があり、水産に可能性があり、食品加工ソーセージは熾烈な戦いの最中で、蜂蜜

スタート以来  
寄付によって  
維持されてい  
ますが、それ  
をレダ・パラ  
グアイでの事  
業収益によつ  
て運営する形  
に変化させる  
時になりました。  
あるいは、



想像図

標が5千尾です。机上から計算では2ヶ月の販売活動で目標達成するに…。  
▼ロマ・プラタの新

として控えて  
水産は昨  
町、ロマ・ブ  
を新たに設  
石澤園長の  
タートした  
跡的なパクー  
り活気付い  
日の販売で  
160尾  
が売れれた  
とか。年  
間販売量

ないかなあ？資金と同時に  
人も必要な段階です。▼水  
産のパクー販売は、パクーの  
商品名も新たに命名する計  
画で（近日中に発表予定）、  
販売用ホームページも作成  
中。その昔、ちょっとテスト  
でホームページを開設した  
ら「20万尾ほど買えないか？」  
という連絡が入ったという噂  
あり！今、レダでは3～4万  
尾しか養殖していないから  
全然足りない！▼そんなこ

とて馬力を上げればチヤンスはあるんです。滝川くん、年間目標5千尾はやめて21万尾にしましよう(笑)いや本当に。行ける!▼1月14日には水産補強要員として岩本くん(26)も出発する。彼は水産の経験もあり、スペイン語もちよつといけて、動画も作れるから、気を付けてないと任務てんこ盛りになりそう。気をつけて! 年齢

# LINE公式アカウント レダの日常・日本の非田

的には嫁も探さなきやいけない。水産が軌道に乗れば、南米永住組の予定なので『レダ婚』で行ける嫁が必要だ！▼岩本くんには良い力メラも持たせてあげたい。予算は25～30万円。これもイレギュラー支出だからクラファン案件だー。▼岩本くん他『レダ婚』希望の方は、下記事務局の藤生さんまでご連絡ください！（原田経史）

パンタナル通信  
電子版 (Blog)

一般社団法人  
南北米福地開発協会 事務局

〒182-0021  
東京都調布市調布ヶ丘 2-15-1  
ビリアベルデ 407  
電話: 042-449-0183  
メール: office@asd-nsa.com  
ホームページ: <https://asd-nsa.com>

## パンタナール通信 電子版 (Blog)



曰・韓・西・英・  
ポの5か国語。  
スマホでもパソコンでもお読みい  
ただけます

LINE公式アカウント  
レダの日常・日本の非日常



レダ現地の様子、プログラム・イベント通知・参加者募集案内などを配信します。  
←友だち追加はこちらから